

経営比較分析表（平成29年度決算）

秋田県地方独立行政法人秋田県立病院機構 脳血管研究センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	-	ド訓	救災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	27,399	非該当	10：1	

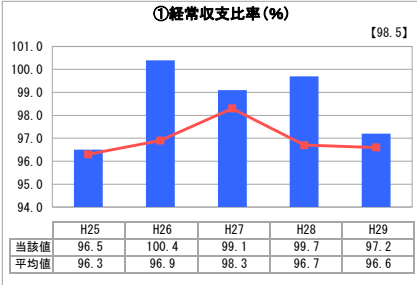
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

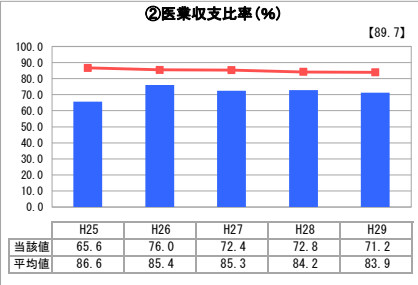
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
184	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	184
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
169	-	169

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

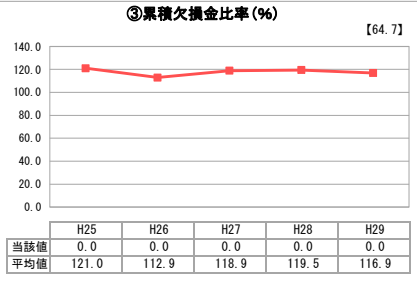
1. 経営の健全性・効率性



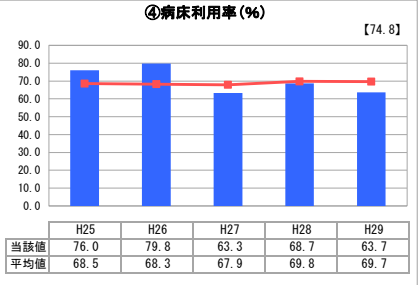
「経常損益」



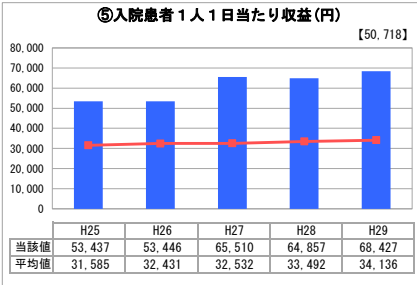
「医業損益」



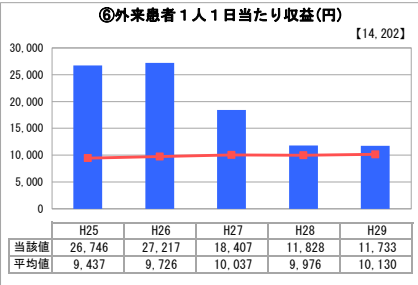
「累積欠損」



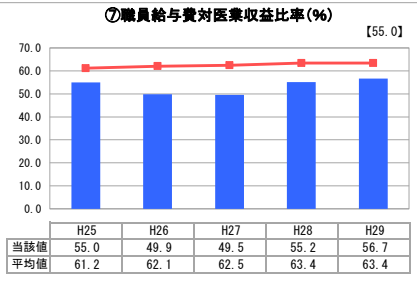
「施設の効率性」



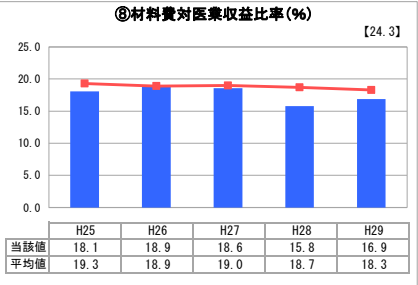
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

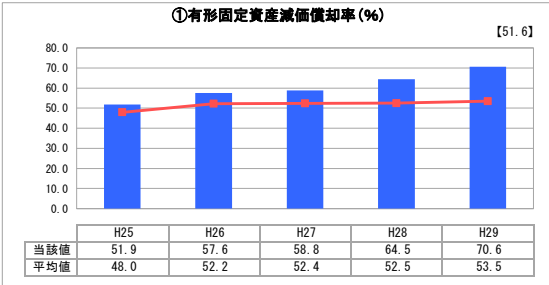


「費用の効率性①」

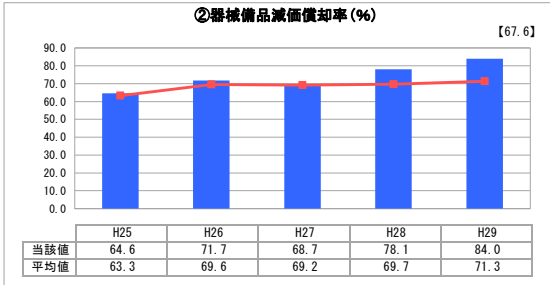


「費用の効率性②」

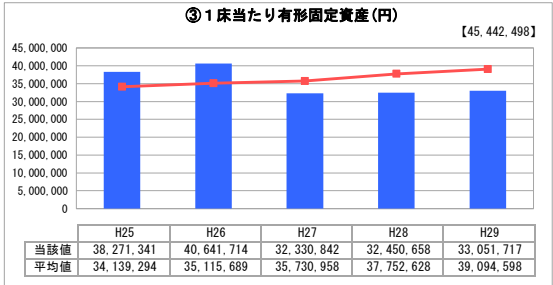
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

【脳・循環器疾患の三次救急医療】
脳・循環器疾患に関する三次救急医療機関として、救急車やドクターヘリ等による全県からの重症救急患者の受け入れを行っている。
また、先駆的なチーム医療の実践や最新医療機器を活用した高度かつ専門的な医療を地域に提供している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、管理経費の本部費用を計上していることから97.2%となっている。
②医業収支比率については、三次救急医療機関として不採算部門を担っていることから、全国平均を下回っている。
④病床利用率については、新規入院患者数の減少および平均在院日数短縮による延入院患者数の減等により前年度を下回った。
⑤入院患者1人1日当たり収益については、脳・循環器疾患の専門病院であり、高度な医療を提供していることから、全国平均を大きく上回っている。
⑥外来患者1人1日当たり収益については、平成28年度に院外処方化を行った以降減少しているものの、脳・循環器疾患に関する高度な医療を提供していることから、全国平均は上回っている。
⑦職員給与費対医業収益比率については、定期昇給等により前年度より上昇しているものの、全国平均は下回っている。
⑧材料費対医業収益比率については、患者数の減による医業収益の落ち込みにより前年度より上昇しているものの、全国平均は下回っている。

2. 老朽化の状況について

○有形固定資産減価償却率および器械備品減価償却率については、年々増加傾向にあり、かつ平均値を上回っていることから、今後計画的に設備や医療機器等の更新を行っていく必要がある。

○1床当たり有形固定資産については、前年度値よりも増加しているものの平均値よりは下回っており、固定資産への投資は適切に行われている。

全体総括

平成29年度決算においては34,388千円の純利益を計上したが、平成30年度には、脳・循環器疾患の包括的医療提供体制構築に向けた脳心血管病診療棟の完成や、それに伴う医療機器の整備が予定されていることから、今後も引き続き収益増加と費用圧縮に努めていく必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。